

公表

## 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	看護小規模多機能型居宅介護びりーぶ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 18名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	〈環境・体制整備〉 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。	医療的ケア児の受け入れが多く、呼吸器管理・経管栄養等、個室で対応している。 こどもが安心して過ごせるよう、飾りつけを行っている。	医療的ケア児が複数人利用する時は人手が必要となる為、職員の求人を継続していく。
2	〈適切な支援の提供〉 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切に行っている。	管理者で6ヶ月に1回、家族・看護・介護・リハビリの担当者からモニタリングを行い、利用者の状況に合わせて計画の見直しが出来ている。	家族が必要な時に利用できる事業所であり続けるため、本人・家族の要望に耳を傾けていく。
3	〈保護者への説明等〉 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮をしている。	年4回「びりーぶだより」を作成し配布している。 事業所のパーベキュー大会に、本人・家族・きょうだい児を招いて交流を図っている。	今後、HPやSNSの活用も今まで以上に行ってゆきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	〈環境・体制整備〉 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数が不足している。	呼吸器装着・気管切開等がある、重度の医療的ケア児の受け入れが多く、複数人利用時は2人で行うケアが多いため、時間を要する。	職員の求人を継続する。 看多機の中で共生型を運営している為、受け入れ人数に制限がある。 看多機とは別での運営を目指す。
2	〈業務改善〉 第三者による外部評価を行っておらず、評価結果からの業務改善が出来ていない。	2ヶ月に1回、地域住民代表参加の運営推進会議で、運営状況・ヒヤリハット事故報告は行っているが、第三者評価による調査・分析は行っていない。	障害福祉専門の税理士事務所への相談を検討している。
3	〈保護者への説明等〉 父母の会の活動支援や保護者会等の開催が少ない。	年間計画の中に父母の会・保護者会を入れていない。	重度の医療的ケア児の両親は日々が忙しいが、年1回は保護者の思いを話せる居場所づくりが必要である。